

# 調査結果

## 平成 30 年度 裾野市市民意識調査

### ■調査概要

#### 1) 調査の目的

裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、その結果を分析して、市政運営や施策立案に反映させ、現状の市の取り組みを検証することを目的としています。

#### 2) 調査仕様

- ・調査対象：裾野市在住の 20 歳以上の男女 1,000 人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回収
- ・調査期間：平成 30 年 7 月 20 日（金）～平成 30 年 8 月 3 日（金）

#### 3) 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率（昨年度調査）
1,000 票	536 票（うちインターネット回収 64 票）	53.6%（54.0%）

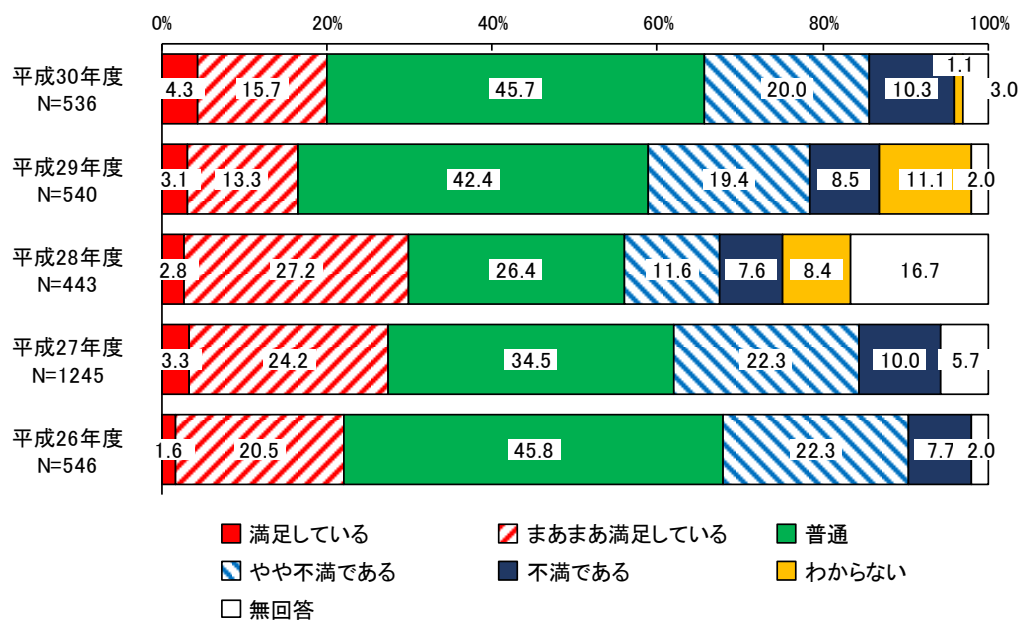
※回答割合は小数点 2 位で四捨五入しているため、合計が 100% とならない場合があります。

### ■調査結果

#### （1）裾野市の市政全般について

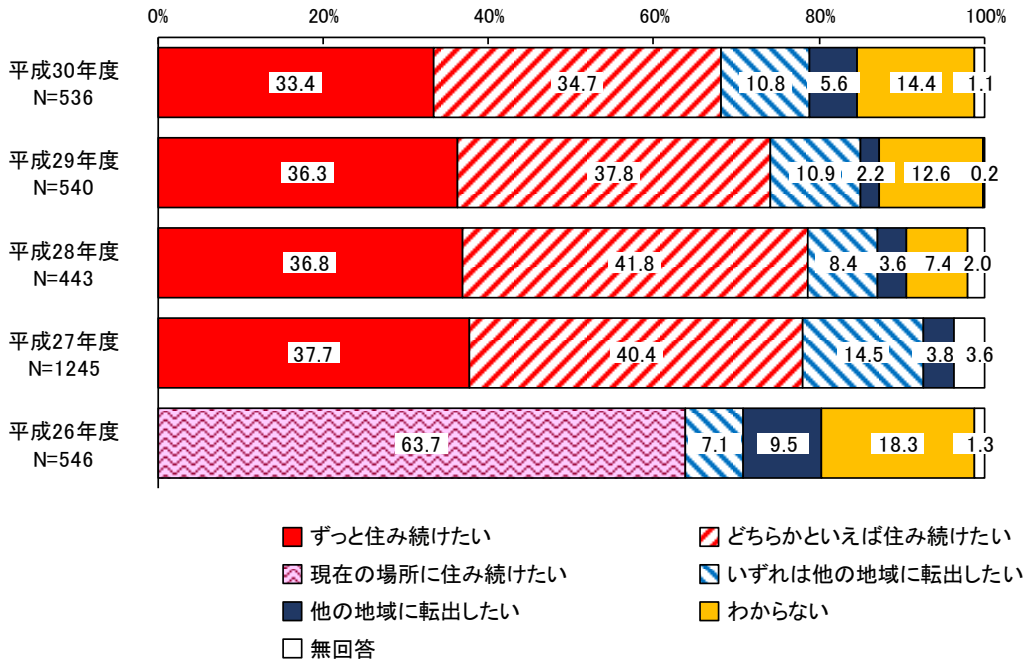
設問：あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。

○「満足している」と「まあまあ満足している」を合計した“満足”の割合は 20.0%、「やや不満である」と「不満である」を合計した“不満”の割合は 30.3%となりました。



設問: これからも裾野市に住み続けたいと思いますか。

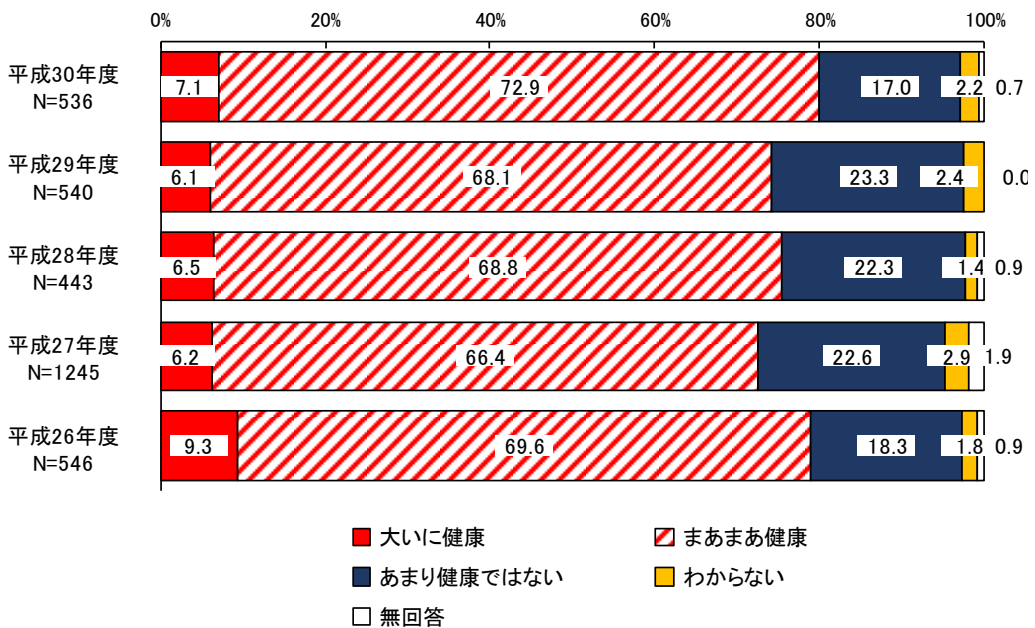
- 「ずっと住み続けたい」の割合が33.4%、「どちらかと言えば住み続けたい」の割合が34.7%でした。合計して68.1%の方が“住み続けたい”と回答しました。
- “住み続けたい”の割合は平成29年度以降減少しています。



※平成26年度までの調査の選択肢は「現在の場所に住み続けたい」、「いずれは他の地域に転出したい」、「他の地域に転出したい」、「わからない」の4種類。平成27年度調査では選択肢「わからない」は用いていない。

設問: ご自分の健康についてどのように感じていますか。

- 「大いに健康」の割合7.1%と、「まあまあ健康」の割合72.9%を合計した“健康”の割合は80.0%でした。
- “健康”の割合80.0%は、平成26年度以降最も高い結果となっています。



設問: 裾野市が行っている取り組みや生活環境についてどのように感じていますか。

・取り組みや生活環境に関する 26 項目について、「満足度」と「重要度」を評価していただきました。

◎満足度・重要度の各回答を、下表に示すように得点化し、その程度・傾向を分析しました。

満足度の各回答の得点		重要度の各回答の得点	
回答	点数	回答	点数
満足	2点	重要	2点
まあ満足	1点	まあ重要	1点
普通	0点	普通	0点
やや不満	-1点	やや重要でない	-1点
不満	-2点	重要でない	-2点

### ◎満足度・重要度の高い項目ベスト5

- もっとも満足度が高かったのは、『空気や河川の水のきれいさ』0.60点でした。
- もっとも重要度が高かったのは、『空気や河川の水のきれいさ』1.30点でした。

満足度			重要度		
順位	項目名	得点	順位	項目名	得点
1	空気や河川の水のきれいさ	0.60	1	空気や河川の水のきれいさ	1.30
2	悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	0.50	2	幹線道路や生活道路の整備	1.28
3	身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.42	3	悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	1.27
4	誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境	0.37	4	安心・安全で快適な住環境	1.25
5	病院、かかりつけ医による医療	0.22	5	病院、かかりつけ医による医療	1.24

### ◎満足度が低く、重要度が高い項目ベスト5

- 満足度と重要度の点数差が大きかったのは、『鉄道やバスの便利さ』-2.09点、『バス路線や便数』-1.88点、『幹線道路や生活道路の整備』-1.62点などで、道路や交通に関する項目が上位を占めました。

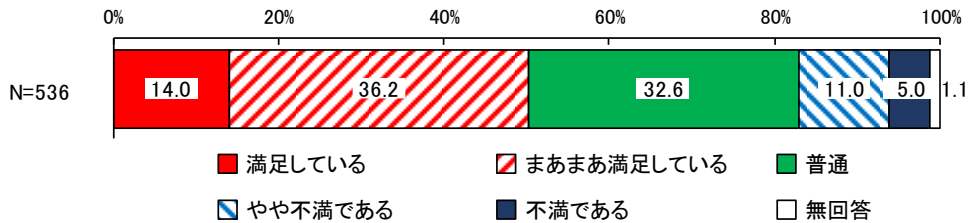
現状の満足度が低く、重要度が高い項目(今後、重点課題の検討が必要な項目)				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差(※)
1	鉄道やバスの便利さ	-0.90	1.19	-2.09
2	バス路線や便数	-0.87	1.01	-1.88
3	幹線道路や生活道路の整備	-0.34	1.28	-1.62
4	市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	-0.52	1.07	-1.59
	厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	-0.36	1.23	-1.59

※点数差=(満足度-重要度)。満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討すべき項目を数値化したもの。

## (2) 生活の満足度

設問：現在のご自分の生活に満足していますか。

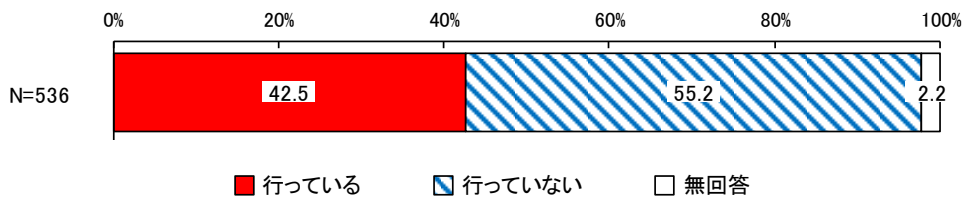
- 「満足している」と「まあまあ満足している」を合計した“満足”の割合は50.2%、「普通」の割合が32.6%、「やや不満である」と「不満である」を合計した“不満である”の割合が16.0%となっており、半数の人が生活に満足しています。



## (3) 自然災害への備え

設問：あなたは、地震、富士山火山、土砂災害等自然災害に対する備えを行っていますか。

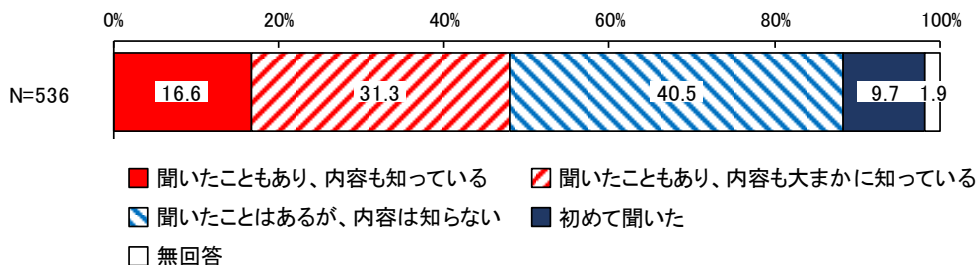
- 自然災害に対する備えを「行っている」人の割合は42.5%、「行っていない」人の割合は55.2%となっており、対策を行っている人よりも行っていない人が多くなっています。



## (4) 「人口減少社会」の認知度

設問：【人口減少社会の認知度・理解度】少子高齢化が進む中、裾野市も人口減少に転じ「人口減少社会」に入っていることについて、あなたはどの程度知っていますか。

- 「聞いたこともあり、内容も知っている」と「聞いたこともあり、内容も大まかに知っている」を合計した“知っている”の割合は47.9%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「初めて聞いた」をあわせた“知らない”の割合が50.2%となっており、知っている人と知らない人が同程度となっています。



【本調査に関するお問い合わせはこちら】

裾野市企画部企画政策課  
〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059 番地 電話：055-995-1804 FAX：055-995-1861  
Eメール：kikaku@city.susono.shizuoka.jp  
調査の結果は、市公式ウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://www.city.susono.shizuoka.jp/soshiki/3/1/10/1/index.html>